

新たな図書館に向けて

東・西図書館が開館から約30年。この間にAIやICTを活用した社会が急速に進展し、Society5.0と言われる新たな時代を迎えようとしています。図書館制度や技術水準も大きく変化し、このような社会情勢や市民ニーズの変化に対応する図書館が求められるようになりました。また、東・西図書館の建物・設備の老朽化が進み、長寿命化や統合・新設を含めた議論を始めることが必要になりました。

このため、平成30年4月、図書館協議会を設置し、今後の図書館の在り方について議論を重ね、令和2年2月には「意見書(左下コードからアクセス可)」をまとめていただきました。また図書館では、同年12月に利用状況や市民ニーズの把握をするため、図書館の運営についてのアンケートを実施しました。

現在、図書館ではそこから見えてくる指摘・課題に取り組み始めたところです。例えば、働き盛りの世代の利用率が低く、この世代に利用されていないことが課題に挙げられています。「お仕事応援コーナー」の設置はそうした世代に必要とされるため、また、課題解決型図書館へ進化するための取り組みの第一歩です。

今後、インターネット環境の整備や実用書・専門書の充実、施設・設備の充実など、さまざまな課題に取り組み、時代の変化の中で地域の課題を把握し、図書館ができる新たな情報サービスを生み出し続けることで、市民に親しまれ、また、頼りにされる図書館を目指していきます。



▲図書館協議会の活動の様子



▲意見書はこちらで確認できます



西図書館 西躰館長 東図書館 竹之内館長



▲相談内容に応じて必要な本、情報を探す



▲困ったことがあれば、カウンターまで



▲本以外にも各種パンフレットなども揃える



▲あなたにぴったりの本を紹介

なんでも相談コーナー

図書館は、仕事に必要な資料の収集から日常生活のさまざまな悩み、調べものまで、さまざまな点で活用できることを知っていますか？

司書が皆さんの「調べもの」のお手伝いをするのを「レファレンスサービス」といいます。レファレンスサービスという言葉はなじみが薄いこともあり、カウンターで「何でも相談コーナー」としてサービスを受け付けています。

「自由研究で味噌を作りたいんだけど、作り方が載っている本はある。」
「1985年3月1日って何の日?」
「いろいろな子ども達の質問から「糖尿病の家族のためにレシピが知りたい」などの健康に関わる質問、「会社を立ち上げたいので新しい会社法について知りたい」などのビジネスに関する相談まで、あなたが探し求めている答えにぴったりの本や情報を探すお手伝いをしています。

さらには「調べ方やキーワードが分からない」「知りたいことがぼんやりとしていて、何から調べたらいいのか分からない」「こんな相談をしてもいいのかな?」といったことも、司書と一緒に調べて課題を解決するお手伝いをしていきます。

また、レファレンスサービスは、インターネットでは探しきれない、裏付け

となる本や情報を見つける手助けにもなります。仕事に必要な資料や論文の執筆の際には、根拠のある正しい情報が必要不可欠ですが、インターネットだけで情報を調べていませんか？
インターネットは便利ですが、情報量が多く何が正しいのか、何が根拠になっているのかなど、分からないことも多くあります。そんな時はレファレンスサービスを活用してください。
電話やメールでも受け付けています。困ったことがあれば、ぜひ、気軽にお尋ねください。

また、皆さんの相談に応えるには司書自身も知識が必要です。そのため、研修などを通じ、司書のスキルアップによるサービス向上にも取り組んでいます。

借りている本は 4冊 市民1人あたり

平成30年度の図書館総貸出数は、36万6,499冊。市民1人あたり、年間約4冊借りている計算になります。この数値は京都市を除く京都府下14市中、13位で、本市の図書館利用は少ない状況にあります。

Library Data



東図書館 ☎62・0190

【開館時間】10時～18時
(金曜日は19時まで)
【休館日】木曜日と図書整理日
(毎月最終火曜日)



西図書館 ☎75・5406

【開館時間】10時～18時
(火曜日は19時まで)
【休館日】月曜日と図書整理日
(毎月最終水曜日)

※いずれも年末年始・特別整理期間は休館。本を借りる時は「貸出券」が必要です(東・西図書館共通)。
※国民の祝日(土・日曜日は除く)が火・木曜日の場合は東図書館、月・水・金曜日の場合は西図書館が休館